

基準日：2020年3月10日

基準価額が大きく下落したファンドとその背景について（3月10日）

あおぞら投信株式会社

◆3月10日の基準価額の推移について

弊社投資信託の基準価額は、3月9日（現地）の世界株式市況の下落、為替市場における円高等を受け、以下に掲げる公募ファンドにつきまして前日比5%以上の下落となりましたので、基準価額下落の背景となった市況動向等、および今後の見通しと運用方針につきご報告いたします。（株価相場、為替相場につきましては、別表をご参照ください。）

◆基準価額が前日比5%以上下落したファンド

ファンド名	基準価額	前日比	騰落率
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型)2017-02 (愛称:ぜんぞう1702)	9,123円	-588円	-6.1%
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型)2017-04 (愛称:ぜんぞう1704)	8,988円	-591円	-6.2%
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型)2017-09 (愛称:ぜんぞう1709)	8,767円	-578円	-6.2%
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型)2018-02 (愛称:ぜんぞう1802)	8,988円	-590円	-6.2%
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型)2018-04 (愛称:ぜんぞう1804)	8,992円	-593円	-6.2%
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型)2018-07 (愛称:ぜんぞう1807)	9,040円	-598円	-6.2%
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型)2018-10 (愛称:ぜんぞう1810)	9,194円	-604円	-6.2%
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型)2019-01 (愛称:ぜんぞう1901)	9,011円	-589円	-6.1%
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型)2019-04 (愛称:ぜんぞう1904)	9,025円	-542円	-5.7%
あおぞら・徹底分散グローバル株式ファンド (愛称:てつさん)	9,374円	-1,086円	-10.4%
あおぞら・グローバル・バランス・ファンド(部分為替ヘッジあり) (愛称:星のしずく)	10,149円	-574円	-5.4%
あおぞら・世界配当成長株ベガ・ファンド(毎月分配型) (愛称:くらだし)	2,690円	-287円	-9.6%

■本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。■本資料に示されたコメント等は作成時点の見解であり将来予告なく変更されることがあります。■本資料は弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■「ご購入に際しての留意事項」を必ずご確認ください。

■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

#### ◆基準価額下落の背景となった市況動向等

3月9日の株式市場は世界中で大幅下落となりました。新型コロナウイルスの感染拡大を抑えるために、ミラノを含む北部の封鎖措置に踏み切ったイタリアの株式市場が11%下落したほか、ドイツ、フランスの株式市場も8%前後下落するなど欧州株式市場は総じて大幅続落となりました。米国では、幅広い銘柄に売りが膨らみ、S&P500種株価指数が寄り付き直後に7%下落して、売買を一時中断する「サーキットブレーカー」が発動するなど、大幅続落となりました。主な背景は

①新型コロナウイルスの感染が世界各地で拡大し、世界的な景気減速と企業業績の下振れ懸念から、投資家がリスク性資産から安全資産へと資金を移動する「質への逃避」の動きが加速したこと

②加えて、協調減産協議が決裂してサウジアラビアが増産に踏み切ると伝わると、原油価格が大幅に下落したことから、リスク回避に拍車がかかったこと

③WHO(世界保健機関)のテドロス事務局長が新型コロナウイルスのパンデミック(世界的な大流行)の脅威がより現実味を帯びてきたとの認識を示し、再び「質への逃避」の動きが活発化したこと

等、投資家のリスク回避姿勢の強まりから世界の株式市場は大きく下落したことから、急激な円高も加わったことから、弊社設定の投資信託、特にグローバル株式への投資比率が相対的に高いファンドにおいて、基準価額が大きく下落する要因となりました。

(以下、別表)

#### 【グローバル株式相場】

指数名称	3月6日	3月9日	騰落幅	騰落率(%)
米国S&P500指数(3/6-3/9)	2,972.37	2,746.56	-225.81	-7.6%
英国FTSE100指数(3/6-3/9)	6,462.55	5,965.77	-496.78	-7.7%
ドイツDAX指数(3/6-3/9)	11,541.87	10,625.02	-916.85	-7.9%
日本TOPIX指数(3/6-3/9)	1,471.46	1,388.97	-82.49	-5.6%
上海総合指数(3/6-3/9)	3,034.51	2,943.29	-91.22	-3.0%

※現地通貨ベース(配当含まず)、小数点以下第3位四捨五入

#### 【為替相場】

通貨名称	3月6日	3月9日	変化幅	変化率(%)
日本円/米ドル	105.39	102.36	-3.03	-2.9%
日本円/ユーロ	119.05	117.13	-1.92	-1.6%

※為替レートは、米ニューヨーク市場17時時点のレート。(出所:ブルームバーグ)

※小数点以下第3位四捨五入、3月6日-3月9日

■本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。■本資料に示されたコメント等は作成時点の見解であり将来予告なく変更されることがあります。■本資料は弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■「ご購入に際しての留意事項」を必ずご確認ください。

■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

#### ◆今後の見通しと運用方針

世界に感染が拡大する新型コロナウイルスの実態経済への影響の度合いが見極められない中、不安が不安を呼ぶ形で市場は一方方向に大幅下落しています。ただ、大きな下落相場の常として、ポジティブな材料を無視して売られ過ぎの状態となりがちであり、そうしたときは反発のきっかけを探している状態とも言えます。

市場は、先週のFRB(米連邦準備制度理事会)による大幅緊急利下げをも無視して下落しましたが、本日(3/10)のトランプ米大統領の経済対策への発言や習近平・中国国家主席の武漢訪問のニュースをきっかけに反発しています。

新型コロナウイルス感染はまだ終息のめどが立っておらず、市場は当面の間は上にも下にも比較的大きな振幅を繰り返しながら、その感染の広がりや経済的な影響の度合いを見極め、ある程度の時間をかけて底値を探りつつ、本来のトレンドへの回帰のタイミングを計っていくと考えられます。今後も各ファンドの運用の基本方針に基づき、しっかりと運用を継続して参ります。

■本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。■本資料に示されたコメント等は作成時点の見解であり将来予告なく変更されることがあります。■本資料は弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■「ご購入に際しての留意事項」を必ずご確認ください。  
■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

## 【ご購入に際しての留意事項】

### ◆投資信託に係るリスクについて

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資を行いますので、基準価額は変動します。また、為替の変動による影響を受けます。したがって、投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。本ファンドの信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資家の皆さまに帰属します。

また、投資信託は、投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」を必ずご覧ください。

### <投資信託に係る費用>

#### ◆投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	3.85% (税抜3.5%) を上限として販売会社毎に定める率を乗じて得た額とします。
換金時手数料	上限1.10% (税抜1.00%) を上限として販売会社毎に定める率を乗じて得た額とします。
信託財産留保額	なし

#### ◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対して上限年率1.8835% (税込)
その他費用	上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等でご確認ください。

※上記当該手数料等の合計額については、ファンドの保有期間に応じて異なりますので、表示することができません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

※費用の料率につきましては、あおぞら投信が運用するすべての投資信託のうち、投資家の皆さまにご負担いただく、それぞれの費用における最大の料率を記載しております。

### 《本資料のご利用にあたってのご留意事項等》

■本資料は、あおぞら投信株式会社(以下「当社」ということがあります。)が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡しいたしますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資するため、基準価額は変動します。したがって、投資元本および分配金が保証された商品ではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■本資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。■本資料に記載された市況や見通し(図表、数値等を含みます。)は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。■投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。また、証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。■投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。

あおぞら投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2771号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会

■本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。■本資料に示されたコメント等は作成時点の見解であり将来予告なく変更されることがあります。■本資料は弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■「ご購入に際しての留意事項」を必ずご確認ください。

■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。